

# 会議結果報告書

平成28年9月1日

会議の名称	平成28年度第2回生活支援体制整備連絡会 地域の支え合いフォーラム「わたしたちの目指す地域像」
開催日時	平成28年8月24日（水）15時00分～16時50分
開催場所	市民会館パルシティ203連合会議室
出席者	町内会連合会、老人クラブ連合会、連合婦人会、民生委員・児童委員協議会、商工会、食生活改善推進協議会、料理ボランティアおんどりクラブ、料理ボランティアさくらんぼ、料理ボランティア大根の会、話し相手ボランティア「語楽の会」、いきいきサロン運営委員会、ふれあいサロン運営委員会、サロンあざみ／みのりの会、スペース・わ／ダリアの会、いろは元気サロン本町運営委員会、カッピー体操ボランティア、いろは百歳体操ボランティア、オレンジカフェ、G・クローバー、いろりば会、ひまわり体操クラブ、宗岡五区カッピー体操ボランティア、とちの樹会、チームいどばた、クラブしっきーず、東上まちづくりフォーラム、生活協同組合コープみらい、企業組合たすけあい輪っはっは、 （株）コンバート・ワン、社会福祉協議会、社会福祉法人さくら瑞穂会、社会福祉法人ルストホフ志木、高齢者あんしん相談センター（ブロン、柏の杜、館・幸町、せせらぎ、あきがせ）、市関係課（政策推進課、財政課、市民活動推進課、産業観光課、健康政策課、生涯学習課、いろは遊学館、長寿応援課）（計61人）
欠席者	連合婦人会、シルバー人材センター、社会福祉法人志木福祉会あったかの家、社会福祉法人明雄福祉会志木の里（計5人）
説明員職氏名	川嶋祥子 第1層生活支援コーディネーター さわやか福祉財団 岡野貴代氏（計2人）

議 題	1 開会 2 あいさつ 3 第2層協議体の報告 「第1層・第2層協議体の役割と第2層協議体進捗状況報告」 4 講演「地域での支え合いの大切さ」 5 ワークショップ「わたしたちの目指す地域像とは」 グループ発表 6 閉会
結 果	市内で不足するサービスについて検討した。
事務局職員	櫻井副市長、村上健康福祉部長 長寿応援課、近藤課長、吉田主席専門員、高山主任 (計6人)
審議内容の記録（審議経過、結論等）	
1 開会 2 あいさつ 副市長 櫻井正彦 3 第2層協議体報告 資料No.1に基づき、事務局から説明をした。 4 講演「地域での支え合いの大切さ」 資料No.2に基づき、さわやか福祉財団岡野氏の講演を行った。 ・介護保険制度改正の背景：高齢者の生活支援ニーズは拡大、担い手は不足 ・総合事業のサービス類型：必要な地域資源の創出のため、本事業が位置づけられている。 ・地域で支え合う重要性：多様な主体による重層的なサービス提供が必要 ・全国の事例：住民主体による集いの場、訪問活動の紹介 5 ワークショップ「わたしたちの目指す地域像とは」 資料No.3に基づき、各グループにおいて次のとおりワークショップを行った。 (1) 目指す地域像の実現のために地域に必要なものは何か(足りないサービス等) (2) そのサービスを創出するためにどのようなことができると思うか (3) グループ発表 6 閉会 <p style="text-align: right;">以上</p>	

講演とワークショップの様子



## ワークショップ意見（地域に必要な支援・サービス）

### 1 グループ

【メンバー：商工会、食生活改善推進員協議会（料理ボランティア）、いろは元気サロン（サロンボランティア）、いろは百歳体操（介護予防体操ボランティア）、ルストホフ志木ブロン（社福法人）、健康政策課 計8名】



#### 遠くに買い物へ行けない【移動支援】

- ・近くの大型店が閉店して、車のない人は不便（電機・雑貨・下着）
- ・お店まで連れて行ってってくれる人がほしい
- ・車を出してくれる人

#### 集いの場がほしい【居場所づくり】

- ・積極的に外出していく場所が近くにほしい
- ・高齢者が集まれる場
- ・集まれる広い場所
- ・マンションに集会室あり、マンション住民は集まれるが、近隣住民が一緒だと難しい
- ・三世代交流の場、小学生・中学生とのふれあいの場
- ・自分の居場所がほしい

#### ちょっとしたことを助けてほしい【日常生活支援】

- ・電気の交換、ちょっとした手伝いがほしい
- ・一人暮らしのケアが足りない
- ・ゴミ出し手伝い（若い人の）
- ・町内会の中で手伝い隊（電球交換など、ちょっとした修理も依頼できる体制

#### 見守りしてほしい・話し相手がほしい【見守り支援】

- ・若い人の見守り
- ・一人暮らし・高齢者世帯・小中高生の力をいかに借りるか
- ・声かけサービス
- ・会話する人がいなくなる

## 2グループ

【メンバー：町内会連合会、おんどりクラブ（料理ボランティア）、語楽の会（話し相手ボランティア）、柏の杜オレンジカフェ（認知症カフェボランティア）、クラブしっきーず（NPO法人）、(株)コンバート・ワン（男性向け家事自立支援企業）、政策推進課 計8名】



### 情報【社会資源の整理】

- ・社会資源の調査・研究の開発サービス
- ・各種情報の集約サービス
- ・利用者情報の収集サービス
- ・手助けを必要としている方がわからない
- ・ボランティア・専門家等のデータベース

### 地域のつながり【住民の意識】

- ・男性の社会参加
- ・近所の人を知らない、顔見知りの人を知らない
- ・あいさつの声を出さない（特に高齢男性）
- ・若い母親と高齢者のふれあいが少ない
- ・「できることはお手伝いします」というけれども具体的に聞くと「それは難しい」

### 居場所【居場所づくり】

- ・集会所、センター、NPO等の場があっても気後れしている
- ・近所で気軽に話し合える場所がほしい
- ・参加者が特定のメンバーに固まってしまう
- ・近隣の家を利用した集いの場
- ・趣味を活かした活動（施設等の訪問）

### 3グループ

【メンバー：スペース・わ（サロンボランティア）、G・クローバー（サロンボランティア）、いろりば会（老人クラブ）、とちの樹会（サロンボランティア）、チームいどばた（サロンボランティア）、たすけあい輪っはっは（家事支援企業組合）、財政課、いろは遊学館 計9名】



#### 隣近所の助け合い【日常生活支援・見守り】

- ・個人的な小さな日常の生活支援
- ・新しい電化製品等の使いこなしサポート
- ・単身生活者の支援（体調急変時・夜間訪問等）
- ・エレベーターのないマンションの高層階住民へのサポート
- ・若い方達との関わり
- ・大雨の時の市内の見回り

#### 担い手【人材】

- ・いろいろなボランティアグループが志木市はあるがネットワークづくりができていないのでは
- ・ボランティア自身のスキルアップを。非常時などの対応
- ・自分でできることはと思っている（が、本当は支援が必要な人の）手助け
- ・何事にも声かけをしてくれる人
- ・担い手に負担をかけすぎないように自立し、少しずつ分担を
- ・家事の老化どうするか
- ・世代交代を上手にできるか

#### その他

- ・何気なく足を向けることのできる場所【居場所づくり】
- ・体力が衰えた時に集いの場まで行く手段・方法【移動支援】
- ・経済的な保障（介護保険料の値上げなどによる心配）

#### 4 グループ

【メンバー：町内会連合会、老人クラブ連合会、サロンあざみ（サロンボランティア）、カッピ一体操（介護予防体操ボランティア）、東上まちづくりフォーラム（NPO法人）、市民活動推進課 計8名】



#### 生活援助・サポート【日常生活支援・見守り】

- ・家の掃除、庭の掃除、ペットの散歩…
- ・必要な助け合い活動。高齢者の日曜大工的な作業をやってくれるグループ
- ・買い物代行、買い物サポート
- ・通院サポート、服薬管理
- ・墓参りサポート
- ・話し相手

#### 支え合い【居場所づくり】

- ・近くに皆とお茶飲み会ができる場所を募りたい
- ・町内会を利用し、茶会・話をする機会を作ってほしい
- ・誰でも気楽に行ける場所がもっと多くあって良い（話をしたり食事をしたり）
- ・高齢者が気楽に遊びに行ける場所がないのもっとほしい
- ・空き家を上手に使い、おにぎり等皆で集い昼食を食べて、昔話・歌等いろいろ話し楽しく過ごせたら良いと思う。体操や針仕事でもいい

#### その他

- ・サロンや福祉の施設のことについて知識が乏しいのでPRが必要【周知活動】
- ・お出かけの時のサポート・観光サポート【移動支援】

## 5グループ

【メンバー：いきいきサロン（サロンボランティア）、ふれあいサロン（サロンボランティア）、ひまわり体操クラブ（サロンボランティア）、宗岡五区カッピー体操（サロンボランティア）、志木瑞穂の森（社福法人）、産業観光課 計7名】



### つながる場所・相談窓口をつくる【居場所づくり】

- ・地域の集う場所
- ・つながる場所の提供
- ・一番身近な人との交流
- ・出会った時に気持ちの良い挨拶がなかなかできないことがある
- ・身近な法律相談
- ・気軽に相談に行ける場所

### 単身高齢者のフォロー【日常生活支援・見守り・移動支援】

- ・ゴミ捨てるの手助け
- ・ひとり暮らしの見守り
- ・買い物が不自由。近くにスーパーがないため買い物代行
- ・足（車）の確保
- ・健康体操に参加したいが、足がないので参加できない

### 担い手の発掘

- ・ボランティアの担い手
- ・まず住民の意識を高めることが大切

## 6グループ

【メンバー：民生・児童委員協議会、さくらんぼ（料理ボランティア）、大根の会（料理ボランティア）、たんぼぼサービス（住民参加型在宅福祉サービス）、コープみらい（家事支援協同組合）、生涯学習課 計7名】



### 居場所【居場所づくり】

- ・学びと食事、子どもの居場所 ・異世代交流の場
- ・高齢者、みんなの居場所 ・地域の寺子屋
- ・市民が誰でも話しができるサロンが必要
- ・身体が弱っても歩いて行ける場所に居場所
- ・囲碁や将棋を子どもたちに教えてくれる場所
- ・一緒に（食事を）作って、一緒に食べる場

男性をいかに  
地域に！

### 高齢者・大人も子どももちょっと見守り・家事援助【日常生活支援・見守り】

- ・デイサービスから帰宅後の受け（家族以外でできると助かる）
- ・庭の手入れをしていただけるサービス
- ・自室での話し合い
- ・短時間見守りをしていただける方がいると良い（3時間くらい出かけたくても外出が困難）
- ・集いの場への誘導（つきそい）ボランティア
- ・買い物のお手伝いサービス
- ・配食から、食事、服薬までの支援
- ・デイサービス利用者と家族の支え
- ・お掃除をしていただけるサービス
- ・窓ふきの手伝い
- ・庭木の手入れ
- ・高齢者や手の不自由な方のゴミ当番、ゴミ捨での助け合い

どこに頼んで  
良いのか  
わからない

### 防災

- ・防災、防犯体制強化のための施設の充実
- ・防災職づくり
- ・避難所体験

※カテゴリー分類は、若干編集をしております